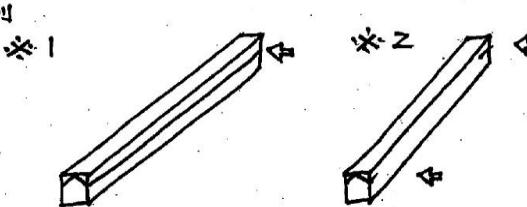


No.	質問	回答
1	<p>3.仕様(4)木削りの際に、けびきの使用に関して表記してありません。 例年、けびきの使用は認められているようですが、木材全面にけびきを使用してよいのでしょうか?※1 または、墨付け時と同様に、切り離し部分のみの使用を認められているのでしょうか?※2 基本的な質問で大変申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。</p> <p>例 ※1 ※2</p> 	木削りの際に、けびき使用に関しては何も規定はありません したがって自由に使用して下さい
2	<p>1 原寸図について (1)平面図の各部材が重なる部分の描き方で、下になる部材の線も上の部材と同じ実線でよろしいでしょうか? (2)⑯⑰各谷木の展開図には、野地面及び上端下端の3面展開図と木口型を描けば、側面図は描かなくてもよいでしょうか?</p> <p>2 墨付けについて (1)⑭⑮隅木下端の桁上端からこぼれる部分は、桁内側面まで延ばすのでしょうか? また、⑯平垂木と⑭隅木の取合いで、垂木が隅木側面より下にこぼれる部分も隅木下端まで延ばすのでしょうか? (2)加工組立に必要な全ての間隔墨、取り合い墨を必要面に描くことについてですが、つぎのような墨付けて、接する木口面の全周囲を描かなくてもよいでしょうか? 1)①柱と⑭⑮各隅木及び⑯平垂木の取り合い墨は、各隅木及び垂木の上端位置墨を柱の正面及び両側面に描けばよいでしょうか? 2)⑨正面桁と⑮⑯破風板及び⑯⑰谷木の取り合い墨は、桁上端及び正面に取り付け基準位置の①柱芯から左240及び右180の位置墨を描けばよいでしょうか? 3)⑭棟木と⑯⑰谷木の取り合い墨は、棟木上端に各谷木上端が接する位置墨を左右1本ずつ描けばよいでしょうか? 4)⑭棟木と⑮⑯各破風板の取り合い墨は、破風板に描かなくてもよいでしょうか? 5)⑮⑯各破風板と⑯⑰各谷木の取り合い墨は、破風板に描かなくてもよいでしょうか? 6)⑯振垂木と⑯振隅木の取り合い墨は、振隅木下端には描かなくてもよいでしょうか? 7)⑯平垂木と⑭隅木の取り合い墨は、隅木側面及び下端には描かなくてもよいでしょうか? 8)⑯⑮各隅木の上端幅芯墨は、くせ削り後に墨打ちすべきでしょうか?</p> <p>3 道具について (1)加工するときに霧吹きを使用してもよろしいでしょうか? (2)ねじを持参する予定ですが、半ねじまたは全ねじの指定はありますか?</p>	<p>1 現寸についての解答 (1) 実線でよい。 (2) 側面図は必要ないです、展開図を描くために必要であれば側面図を描いてもさしつかいない。</p> <p>2 墨付けについての解答 (1) 1、各隅木下ばを桁上ばに水平に取付けます。(掛けは無し) 2、平たる木を隅木側面に立水に取付けます。(掛けは無し) (2) 木口面の全周囲を描く必要はありません。 1) ①柱正面に各部材取合い上ば位置を求める墨と正面及び両側面に各取合い上ば墨を描いて下さい。 2) 桁上ば及び前面に基準位置を描いてください。 3) 棟木上ばに各谷木上ばが接する位置墨及び基準位置墨を描いて下さい。 4) 破風板に棟木の取合い墨は要りません。 5) 破風板上ばに谷木の基準位置墨を描いて下さい。 6) 振隅木下ばに描く必要は無いです。 7) 隅木に平たる木の取合いを描く必要は無いです。 8) くせ削りで消えた場合芯墨を打ち直して下さい。</p> <p>3 道具についての解答 (1) 霧吹きは作業場所を汚さない程度に必要なら使用しても良い。 (2) 予備の木エビスはねじの指定は有りません。</p>